

日本劇作家協会 2022年度(令和4年度) 事業計画

1. 育成、コンクール、セミナー
 - ①第28回劇作家協会新人戯曲賞
6月1日～7月1日 作品公募
7月～9月 一次審査、二次審査
10月下旬 最終選考会(非公開)、受賞作発表
12月上旬 受賞作と最終候補作掲載の「優秀新人戯曲集2023」刊行
12月11日 授賞式と受賞作ドラマリーディング(於 座・高円寺)
 - ②戯曲セミナー:通年講座
オンラインを中心にして秋に開催予定
 - ③戯曲セミナー:研修課(文化庁委託事業)
6月上旬～7月 新規研修生公募、選考
～3月 担当講師の個別指導による研修実施(継続研修生は5月から)
 - ④公開講座(文化庁委託事業)
8月7日 アクセシビリティ委員会が主体となって開催予定(於 座・高円寺)
2. 普及、ワークショップ、シンポジウム
 - ①ドラマリーディングのワークショップと発表会(文化庁委託事業)
 - ◎東京・全国
1)月いちリーディング:6月～2月にリーディングのワークショップを開催(すべてオンライン開催)
→11月の回を中国支部と、1月の回を沖縄支部と協働開催予定
2)ドラマリーディング発表会(リーディングフェスタ):12月10日(於 座・高円寺)
 - ◎大阪
1)月いちリーディング:6月～1月にリーディングのワークショップを開催(オンライン開催とドーンセンター開催)
2)ドラマリーディング発表会(関西スペシャル):11月26日にドラマリーディング発表会を開催(於 ドーンセンター)
 - ◎九州
1)月いちリーディング:9月～2月にリーディングのワークショップを開催(長崎市、鹿児島市を予定)
 - ◎東北
1)月いちリーディング:11月にリーディングのワークショップを開催(盛岡市を予定)
 - ②戯曲を中心としたワークショップ(文化庁委託事業)
都内の稽古場などで開催予定
3. 出版
 - ①戯曲英訳出版(文化庁委託事業)
現代日本戯曲を英訳出版して海外に紹介する(戯曲集の第8巻を3月に刊行)
 - ②戯曲オンデマンド出版の販売と調査、検討を継続して行う
 - ③会報の発行:従来型の会報『ト書き』を発行する(年2回)
4. コロナ対策
 - ①コロナ対策室を中心に、コロナ対策関連事業を行う
 - ②演劇緊急支援プロジェクトの活動、緊急事態舞台芸術ネットワークへの賛同などを継続
5. 調査、資料収集、アーカイブ
 - ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)への協力を継続
 - ②戯曲デジタルアーカイブの運営を継続
6. 協力、パートナーシップ
 - ①鶴屋南北戯曲賞への協力継続
 - ②日本劇作家協会プログラムなど、座・高円寺の企画・運営についての助言、サポートの継続
 - ③障がい者の観劇支援活動を行っているシアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)への協力を継続
7. 国際交流
 - ①各国の劇作家ならびに諸団体との交流継続
 - ②日韓演劇交流センターへの参加を継続
8. 著作権
 - ①戯曲の著作権全般についての調査、対応を継続
9. セクシャル・ハラスメント
 - ①「セクシャル・ハラスメント事案への対応に関する基本要綱」に基づき対応する
10. 支部
 - ①北海道、東北、東海、関西、中国、九州、沖縄の支部ごとに事業を計画、実施
11. その他
 - ①文化庁新進芸術家海外留学制度研修員募集への対応を継続